

西田昌司の見解

希望の党の問題点④

誰が総理に？

小池百合子氏の本音

希望の党の最大の問題点は誰を総理にするか示さないことである

政権奪取できるなら小池百合子氏本人が出馬したい

世論調査では都民ファースト程の勢いが無い

出た方が得か損か、測りかねている

野党党首より東京都知事の方が魅力的だ

選挙の結果次第では与党との連立も否定せず

政権奪取が不透明では選択肢の確保のため明言せずが得策

こうしたことが小池氏の本音で有り、ずるいが賢い選択である

前原誠司氏の本音

政権交代を掲げるなら誰が総理か示すべきと前原氏は主張

国民にあらかじめ総理候補を示すことは筋としては正しい

しかし、それができない状況は上記の通り

前原氏は、それができないことを知った上で小池氏に出馬を促している

小池氏が出馬できないなら、誰かに決めておくべきだとも発言

その場合の首班は前原氏自身だと要求するのではないか

候補者も資金も大半は元々民進党に属していたもの

その代表である前原氏は希望の党の大株主と自認しているのではないか

これでは、総理の座を仲間や党の金と引き換えたことになる

しかし、そうした行為を国民は許すだろうか

本日の夕方に二人がどういう結論を出すか注目したい